

地域でお寺を軸にお祭りを創る産学寺連携の新事業の試み 初開催！京都伏見『耳祭り』で耳への感謝

～ 産学寺連携で地域の持続的な発展を目指す取り組み ～

株式会社神社仏閣オンライン（所在地：京都市伏見区伯耆町1-1 代表：河村英昌）とトラディ合同会社（所在地：京都市山科区安朱東海道町56 代表者：帖佐 翔人）は、歴史ある伏見の地において、非公開寺院である大光寺で「耳祭り」を初めて開催いたします。耳にご利益のあるお薬師様を祀るこの祭りでは、大光寺の特別拝観と健康祈願を中心に、狂言や落語など耳で楽しむ芸能、地域の店舗と連携したマルシェ、お抹茶席、障がい者によるアート展示など、多岐にわたるプログラムをお楽しみいただけます。公式HP：<https://daiko-ji-hp.com/jp/mimi/>



■地域においてお祭りを創造する新規事業の試み

神社仏閣オンライン代表の河村英昌は会場である大光寺の副住職でもあり以前から神社仏閣を持続可能にする方法を模索し、取り組んできました。今回のお祭りは、特色のあるお寺がハブになることで地域の事業者様を巻き込み、お寺の関係人口を増やすことで持続可能な未来を作りたい、そういった想いがありできたお祭りです。大光寺としても「仏様を拝みたい」という声は多くいただいていたものの、公開ができていなかったため、そのようなお声をいただいていた方々にとってよい機会になればと思う次第です。会社としてはいずれこのようなお祭りを全国に展開していければと考えています。

■地域学校・学生との連携

今回の取り組みでは、地域学校・学生との連携もいれることでより世代を超えて持続して地域に根付くお祭りにできるようにということを考えています。具体的な連携ポイントとしまして、京都文教大学様に手話によってお祭りを紹介する動画の作成での連携、龍谷大学学生のベンチャー企業のマルシェでの出店、京都橘高校の茶道部の方々にご支援いただくお抹茶席を展開予定です。

■インバウンド向けコンテンツも多数展開

インバウンド向け旅行会社、トラディ合同会社と連携することでインバウンドコンテンツも複数展開します。竹垣作り、狂言の弟子入り、後朱印帳作りなどを展開予定です。



■耳で楽しむ多彩なプログラム

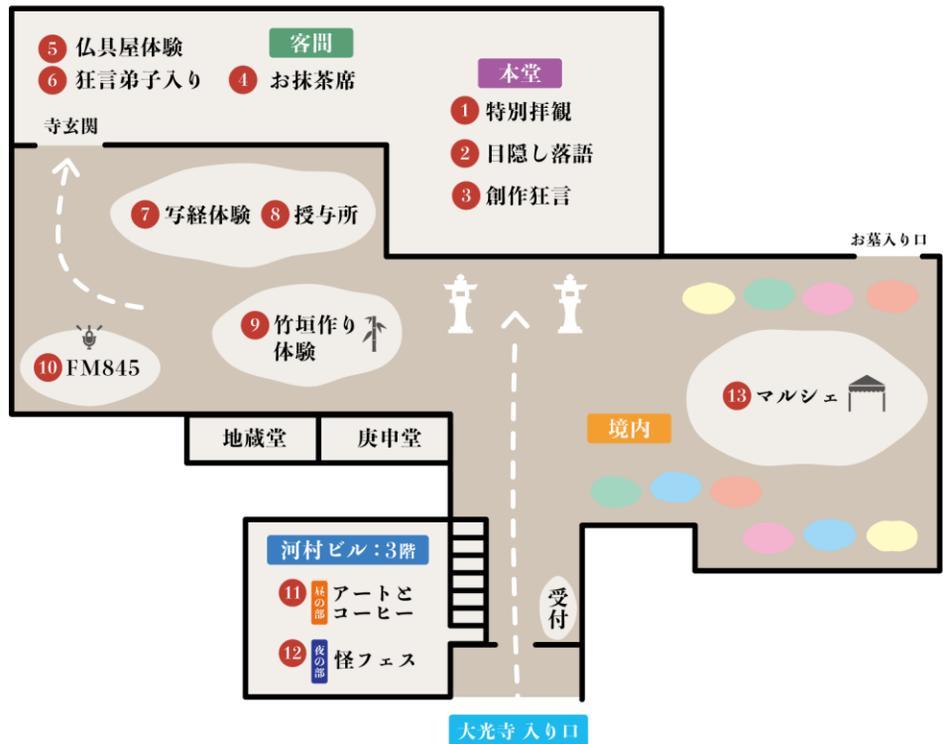
落語は「目隠し落語」として、目を閉じて耳だけで楽しむ新しい体験を提供。さらに、耳祭りオリジナルの「創作狂言」や、地元のお茶を使用したお抹茶席、ラジオパーソナリティーによる絵本の読み聞かせ、アーティストとのコラボによる写経体験、障がい者アートの展示など、幅広いプログラムが用意されています。

■夜の部は怪談百物語

夜の部では、怪談師・宇津呂鹿太郎氏を迎えて、恐怖の「怪談百物語」を開催。参加者が披露する怪談を、怪談売買所のごとく宇津呂氏が買い取るかも…！？京都市観光協会と協力しています。

■開催プログラム一覧

本堂はこちらからお入りください



■「みみくじ」初登場！

このお祭りで初登場するのが、大光寺の新たな授与品「みみくじ」です。耳に「痛い」けれど納得できる、そんなお経の言葉が法薬として記載されています。お薬師様の教えである「法薬」は、私たちが悩みや苦しみから解放してくれます。さらに、近畿大学医学部の生塩研一講師監修による耳にまつわる豆知識も一緒に掲載されています。



■問い合わせ先

- ・日程：2024年11月9日（土）9:00～16:00 / 夜の部 18:00～19:30
- ・場所：大光寺（京都市伏見区伯耆町1-1）
- ・お問い合わせ：株式会社神社仏閣オンライン 代表取締役社長 河村英昌
（メール: h.kawamura@jinjabukkaku.online）